

(様式1)

令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 31	提案機関名 農業技術センター横浜川崎地区事務所
要望問題名 パンジー・ビオラ栽培における長雨対策の検討	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 【背景】神奈川県はパンジー・ビオラの全国有数の産地であり、横浜、川崎地区は湘南地区と並ぶ2大産地である。栽培期間は8月から長期にわたるが、当該期間は長雨の発生が度々見られる。屋外に設置された鉢置き場で栽培されるため、長雨により鉢の用土表面が固化し、その後の灌水を阻害し、生育に悪影響を及ぼしている。 【内容】一部の生産者がべた掛け資材を利用した被害軽減措置を取っているが、日照や気温条件が生育に及ぼす影響や、植物の生育に伴い接触による生育阻害の懸念がある。利用にあたって適正な設置方法や設置期間等の検討をお願いしたい。また、別途解決方法の検討も併せてお願いしたい。 【対象地域及び規模】パンジー・ビオラ 75 戸	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名 農業技術センター	担当部所 生産技術部果樹花き研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可
試験研究課題名 (①、②、④の場合) I-2 (4) 花き・観賞樹の高品質・安定生産技術の開発 ケ 花壇苗の安定生産技術の開発	
対応の内容等 近年は、パンジー、ビオラの屋外での育苗期間にあたる夏～秋季に、極端な高温、長雨、ゲリラ豪雨、降雪などの起こりやすい気象条件となっており、これらの生産への悪影響を回避するため、実施すべき課題と考えます。 長雨に関しては、野菜等で用いられている方策を参考に土壌の固化防止対策として、雨除けのためのトンネル、べたがけの種類、設置方法を、排水対策として、用土、ポットの種類、ポット下の資材について検討します。	
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
備考	